



折渡いきいきサロン小旅行



いきいき百歳体操を中心に集まっている「折渡いきいきサロン」のメンバー20名が、6月21日湯梨浜町の羽合温泉へ小旅行に出かけました。

羽合温泉の“千年亭”に到着した一行は、演芸場で大衆演劇の「大川劇団」による名作「曾根崎心中」を観劇。心中を誓う場面では涙を流すメンバーも・・・。

豪華な昼食を堪能した後は、歌と踊りのショーを心ゆくまで楽しみました。

当日は天気も良く、メンバーも大満足の日になりました。

編集・発行 大宮まちづくり協議会
総務部

《お問合せ》

大宮地域振興センター
〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911
Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaoomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: <http://blog.zige.jp/satoyamaoomiya/>
“じげプロ”よりお入りください



【編集デスク】

「大宮十五夜」は、地元のみなさんよりも、帰省客のみなさんの方が多かった。普段、子どもたちの姿を見ることがないのに、当日は、子どもたちで会場は賑わった。人口減少と高齢化ではあるが、伝統だけは引き継ぎたいと実行委員会も頑張った。

資金不足になりつつある中、地元のみなさんはもとより、大宮出身の方々から多額の寄付をいただき、花火も予定通り打ち上げ、喜んでもらった。

これからも、みなさんに喜んでもらえる「大宮十五夜」を実施したいものだ。みなさん方のご協力をお願いしたい。(青)

No.68

おおみや



射的やわなげ、ヨーヨーなど縁日コーナーは大盛り上がり！！



仲間と久しぶりの再会



迫力の源流太鼓の演奏



目の前に広がる雄大な花火



印賀川音頭を今年もみんなで踊りました。来年もまた会いましょう！みなさんの帰りを待ってます！





大宮里山まつり中止

迷走台風の影響で初の中止

菅沢ダムを中心に7月31日に開催を予定していました「大宮里山まつり」が、台風12号の影響により中止となりました。楽しみにされていたみなさん、来年はさらに力の入った「里山まつり」にしたいと思いますのでご期待ください。

ということで急きょ決定！！

菅沢ダム完成50周年企画 菅沢ダム完成までの足跡



1968年（昭和43年）5月に完成し、本年が50周年となった菅沢ダム。50年経ったとはいえ、まだ鳥取県で1番大きなダムなのです。移住しなければならなかった地元住民のみなさんの思いや菅沢ダムの50年間を建設当時の写真で振り返りながら思い出してみてください。



印賀川ダム説明会

1959年（昭和34年）9月18日、印賀川ダム建設についての第1回説明会が行われた。地元住民と石破二郎鳥取県知事との間で話し合わせ、この後、数度にわたって話し合いが持たれた。



ボーリング調査

1963年（昭和38年）5月、築堤予定地の山腹数カ所で本格的なボーリング調査が行われた。



定礎式

1966年（昭和41年）5月27日、石破二郎鳥取県知事、大塚中国地方建設局長、木下町長ら約80人が出席して定礎式が挙行された。ダムサイトの中央部に横50cm、高さ70cmの礎石が置かれ、7tのコンクリートが勢いよく流れおちた。



送別会

1966年（昭和41年）5月4日、菅沢ダム建設に伴って水没する27戸、33世帯の送別会が日南町中央公民館で行なわれた。総勢約60名が参加して行なわれた。



本体工事

最初の発破作業（左）

1965年（昭和40年）10月15日午前10時30分、起工式が行われた。最初の発破を大塚中国建設局長が対岸に仕掛けられた発破のボタンを押して、工事に着手した。



ダムサイト工事

高さ73.5m、堤長220mの重力式コンクリートダムは、1,650万tの貯水ができるといわれている。ダムに蓄えられた水は、洪水調整をはじめ、下流の農業用水、工業用水、発電に供給される。本体工事に使われる20万㎡のコンクリート打ちは、約19カ月かかった。なお、このコンクリートに使う砕石は、ダム工事現場の近くの山を切り崩し、ベルトコンベアーで運ばれたので、安価な費用となった。



竣工式

1968年（昭和43年）5月27日、およそ2年半の工期を経て菅沢ダムは完成した。建設省坂野河川局長、石破県知事、木下町長ら関係者およそ400人が参列して竣工式が挙行された。放水警報のサイレンが山々にこだまする中、開かれた水門から湖水が勢いよく流れだした。割れるクス玉、色鮮やかな風船が天空に舞い上がる中、大宮・日野上両中学校のブラスバンドの演奏で完成を祝った。



湖底に沈んだ懐かしい風景

本山地区、中原地区の一部が湖底に沈み、夏場には湖底の一部が姿を現す。住居跡や道路を見ると当時の風景が頭をよぎる。湖底に沈んだ本山橋の欄干は、何年か前に持ち上げられ、大宮地域センターに展示されている。

「鳥取県消防ポンプ操法大会」で大健闘

7月1日（日）鳥取県消防ポンプ操法大会が行われ、西部地区大会を勝ち抜いた大宮分団は小型ポンプの部で出場し、8位の成績で競技を終えました。また、3番員を務めた黒崎謙一さんが、優秀選手に選ばれました。みなさん応援ありがとうございました。

操法大会出場選手

- 指揮者 大塚貴昭（折渡）
- 1番員 白根英司（菅沢）
- 2番員 岡本人思（宝谷）
- 3番員 黒崎謙一（印賀）
- 吸管補助員 宮慶良（印賀）

